

福良小学校の防災教育の資質・能力について

1.防災教育の目標

◎自他の生命を大切にできる児童の育成

- ① 災害時に自他の生命を守るために必要な知識及び技能を習得し、防災意識を高める(関心・知識・技能)
- ② 知識、技能をもとに自らの思考・判断を働かせ、変化していく状況に応じて適切な行動がとれる力を育成する。(思考・判断・主体的行動)
- ③ 地域の人や家族など、人と関わることから、絆の大切さや生命の尊さを学ばせるとともに体験活動等を通して、助け合いや思いやりの心を根付かせ、よりよい社会性や人間性を育む。(社会貢献・支援者の基盤)

2.育成すべき資質・能力

【重点育成 資質・能力】

ア.自他の生命を守るための基礎的・基本的な知識・技能

イ. 思考・判断を働かせ、適切な行動をとる力

ウ. 心を育み、よりよい社会づくりに参加し貢献する情意や態度

	関心・知識・技能	思考・判断・主体的行動	社会貢献・支援者の基盤
6年生	災害のメカニズムについて関心を持ち、これについて調べ、理解し、安全な行動の仕方が理解できる。	災害に関する情報から危険を予測し、適切な判断のもと、周囲に気を配りながら身を守る行動をとることができる。	家族や友達、地域の人たちと災害に関することで関わり合い、有事の際には、周囲の人と助け合うとともに、ボランティア活動にも進んで参加できる。
5年生	地形や気象、自然環境について関心を持ち、これらが災害と関連していることを知り、安全な行動の仕方が理解できる。	災害に関する情報から危険を予測し、適切な判断のもと、身を守るための主体的な行動をとることができる。	家族や友達、地域の人たちと災害に関することで関わり合い、有事の際には、周囲の人と助け合うとともに、ボランティア活動にも進んで参加できる。
4年生	地域社会に関心を持ち、災害時の命を守る工夫について知り、安全な行動ができる。	自然災害について理解し、大人の指示を確実に聞き、状況に応じて適切な行動をとることができる。	進んで、家族や友達、周囲の人と関わりあうことから、有事の際には協力して助け合うことができる。
3年生	地域の地形等に関心を持ち、災害時の避難の仕方を知り、安全な行動ができる。	自然災害について知り、大人の指示を聞き、状況に応じて適切な行動をとることができる。	進んで、家族や友達、周囲の人と関わりあうことから、有事の際には協力して助け合うことができる。
2年生	通学路や安全確保行動に関心を持ち、災害時の避難尾仕方を知り、身を守る初期行動がとれる。	災害の危険性について知り、適切な避難の仕方を考えたり、大人の指示を聞いたりして、行動することができる。	身の回りの大人と話したり、交流したりすることから有事の際には、大人と連絡を取り合うことができる。
1年生	通学路や安全確保行動に関心を持ち、災害時の避難尾仕方を知り、身を守る初期行動がとれる。	災害の怖さから適切な避難の仕方を考えたり、大人の指示を聞いたりして、行動することができる。	身の回りの大人と話したり、交流したりすることから有事の際には、大人と連絡を取り合うことができる。